



# 一般財団法人 新技術振興渡辺記念会



(ミッション)

科学技術に関し、調査・研究及びこれらの助成・奨励を行うことにより、  
新技術の振興を図り、社会・経済の発展と福祉の増進に寄与する

Watanabe Memorial Foundation  
for The Advancement of New Technology

# ごあいさつ



理事長 佐藤 征夫

当財団は、神田通信工業(創業者:故渡辺勝三郎氏)の株式を以て、昭和57年(1982年)7月1日に設立され、平成23年(2011年)6月1日に、新公益法人制度の下、従来の事業を継承実施する一般財団法人へ移行しました。設立以来、新技術の振興を図り、社会・経済の発展と福祉の増進に寄与することを目的として科学技術に関する調査・研究及びこれらの助成・奨励を行ってきています。

現在、急速に開発が進んでいる生成AIが社会のあらゆる側面に大きな影響を与えており、世界各地での頻発する大規模災害、世界規模でのサプライチェーンに対する地政学的リスクなど世界的な環境変化だけでなく、国内での人口減少に対する多くの制度改革の必要性など、科学技術を取り巻く環境は、劇的に変動しています。当財団もこのように大きく変化している枠組みに対応しつつ、財団の目的に沿って科学技術に関する調査研究等に係る業務を実施していく所存です。

## 評議員

上田新次郎	元株式会社日立プラントテクノロジー 代表取締役副社長
臼井 勲	公益財団法人 新世代研究所 評議員
鍵山真由美	清泉女子大学 講師
島田 博文	日本コムシス株式会社 顧問
辻 篤子	中部大学 学術推進機構 特任教授
永野 博	政策研究大学院大学 客員研究員
林 聖子	亜細亜大学 大学院アジア・国際経営戦略研究科 委員長 都市創造学部 教授
平澤 冷	公益財団法人 未来工学研究所 理事長
村野 和雄	一般社団法人 科学技術と経済の会 顧問
森口 泰孝	公益財団法人 科学技術広報財団 理事長

## 役員

理事長	佐藤 征夫
専務理事	下田 隆二
常勤理事	岩淵 晴行
理事	大井 滋 JX金属株式会社 元社長
	太田 充代 産業カウンセラー、THP 心理相談員
	白木澤佳子 国立研究開発法人 科学技術振興機構 監事
	高園 武治 公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事
	中西 友子 東京大学 名誉教授・特任教授、星薬科大学 名誉教授・前学長
	水本 伸子 株式会社トクヤマ 取締役
監事	片山 泰祥 NTT都市開発株式会社 顧問
	坂田 東一 公益社団法人 日本ローイング協会 会長

## 顧問

高木喜一郎	一般財団法人 新技術振興渡辺記念会 前理事長
-------	------------------------

表紙の写真は、旧富士山測候所で大気化学・大気物理学などを観測中に、雲海に浮かび上がった影富士をとらえたものです。高層の大気は人間活動による汚染から遠く、澄み渡って見えますが、その大気や雲水の中にもマイクロプラスチックなどが検出されます。当財団が委託し実施する富士山体を利用した調査研究では、東アジアの高山で最初のデータが得られています。

(写真提供:認定NPO法人 富士山測候所を活用する会)

# 事業の概要

## 1. 科学技術に関する調査研究の実施

科学技術の諸分野における調査研究(科学技術政策の立案・推進、科学技術と社会経済との関連、科学技術人材の育成、科学技術の発展動向など)について、財団内での実施あるいは外部委託などの方法により実施しています。

過去10年間の実施課題数は50件以上で、下記のような調査研究があります。

- ・富士山体を利用したマイクロプラスチックの東アジア大気汚染の実態把握に関する調査研究
- ・社会課題の解決に資するメタバースに関する調査研究
- ・政策形成のための発展モデルの構想

## 2. 科学技術に関する調査研究への助成

学協会等公益的な調査研究団体、大学等に所属する研究者などを対象として、科学技術政策の立案・推進、科学技術と社会経済との関連、科学技術のコミュニケーション、人材の育成、発展動向等に関する調査研究に対して、応募課題の中から外部の学識経験者らによる課題審査結果を踏まえて助成を行います。

過去10年間の助成課題の件数は約240件で、最近では下記のような課題に対して助成しました。

- ・令和6年能登半島地震の海岸隆起地形における多次元高精細アーカイブと教育的活用
- ・ゲノム合成分野におけるバイオベンチャーの動向に関する調査研究
- ・来たるべき未来の工学倫理と工学教育に関する調査研究



募集要領ほか  
関連情報

## 3. 科学技術に関する国際交流への援助

学協会等公益的な調査研究団体、大学等に所属する研究者などによる①海外における国際研究集会等への参加、②国内外で行う国際研究集会等の開催、③外国の研究者等の招へいについて援助します。

過去10年間の援助数は約30件で、下記のような援助例があります。

- ・ヨーロッパ地球科学連合大会 2024(EGU General Assembly 2024)への参加
- ・第17回放射・光化学トロンベイシンポジウムへの参加
- ・国際サイバー・情報安全保障カンファレンス CYDEF2023 の開催



募集要領ほか  
関連情報

## 4. 科学技術振興に関する普及・啓発の推進

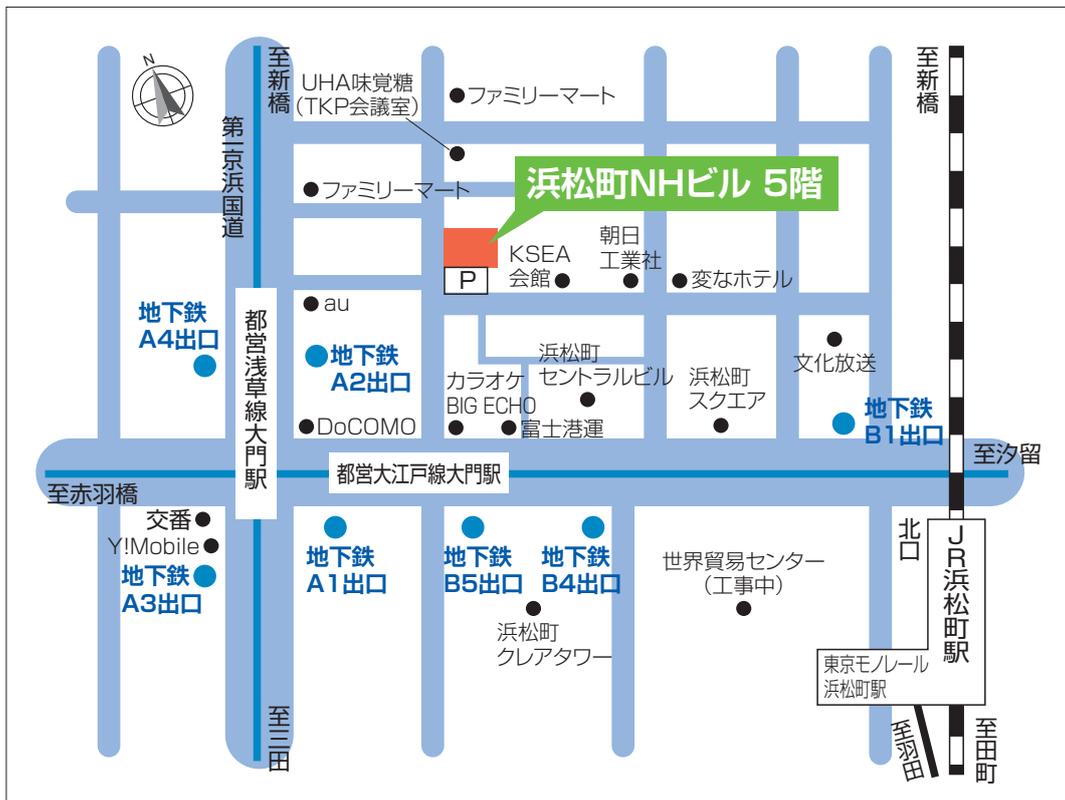
当財団の調査研究の実施及び助成により得られた成果を公開するとともに、各種のシンポジウムを主催あるいは他機関との共催、後援により行い、科学技術の普及、啓発の推進を図ります。また、科学技術の振興に業績を挙げた者に対する顕彰を行います。

過去10年間に下記のものを含め60件以上を手がけました。

- ・科学技術映像祭の共催および当財団理事長賞の贈呈
- ・井上春成賞受賞研究者の表彰(研究奨励金の贈呈)
- ・技術経営・イノベーションシンポジウムの協賛

---

以上のほか、当財団では年2回広報誌「新技術振興渡辺記念会だより」を発行しています。



JR山手線・京浜東北線 浜松町駅(北口)より徒歩3分  
 東京モノレール 浜松町駅より徒歩5分  
 都営浅草線・大江戸線 大門駅(A2出口)より徒歩1分  
 ※地上までのエスカレーター/エレベーターはA1、B1、B4、B5出口にあります。



## 一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目25番13号(浜松町NHビル5階)  
 TEL 03-5733-3881 FAX 03-5733-3883  
<http://www.watanabe-found.or.jp/>

